



みんなで作る 生き活きとした 立川プロジェクト報告書



立川商工会議所では、平成21年10月に環境 ECO 推進協議会（現：ECO イノベーション推進協議会）を設置し、「環境行動計画」を策定、地球温暖化対策事業を推進してきました。平成26年度にその計画の見直しをはかり、平成27年度より新たにネクストステップとして「みんなで作る生き活きとした立川プロジェクト」を策定し活動を行っております。

環境に配慮し、街のにぎわいと活性化、事業所の活動や発展を通じて、より魅力ある東京西部主要都市「立川」をめざして活動を続けてまいります。

事業方針

1 中長期的活動（5～10年）

1. 立川モデルの検討

- ・立川の独自性を出したモデルの検討をし、多摩地域全体に広げていくためのプロジェクトの検討

2. “見える化”によるグリーンマイルージ（GM）の検討

- ・夏季、冬季の電力・ガスが前年より削減されていれば GM を付与
- ・“見える化”システムの実験参加により GM を付与
- ・エコドライブの実践（燃費の登録）により GM を付与

3. エコドライブ推進の検討

- ・ノーカーデー、カーシェアリング、パークアンドライド、レンタサイクルの実証実験

2 短期的活動（1～2年）

1. 中小企業における省エネ提案

- ・立川独自の“見える化”システムを中小企業に導入し、省エネを推進する

2. 省エネ体験プロジェクト

- ・環境に意識の高い人材（学生・若者）を育成するため、省エネ・創エネの実験プログラムを作成・実践

3. 外部プロジェクトの連携

- ・たとえば“まち・住まい・交通 創省エネ推進プロジェクト”（国土交通省）

4. 情報収集・提供

- ・勉強会を実施（水素ガス・電力、ガスの自由化、新エネルギー）
- ・補助金の獲得等情報の提供

5. アンケート調査の実施

- ・会員の望むテーマの模索 ・会員事業所の環境への取り組み（1店1エコ運動の推進）

平成29年度の主な活動

第8回 環境シンポジウム（H30.2.7）

～立川発!!みんなで作ろう環境ビジネス2018～

- ・基調講演「南極・北極から見る地球と人類の過去・現在・将来」
大学共同利用機関法人
情報・システム研究機構 国立極地研究所 所長 中村 卓司 氏
- ・協議会と学生の連携事業 研究発表
「アプリ（APRE）が立川を変える?!」
中央大学経済学部 谷口ゼミナール+谷口 洋志 教授
- ・立川市補助金制度及び事例紹介

学生との連携事業

中央大学経済学部／谷口ゼミナール・唐ゼミナール

立川プロジェクトでは、立川の独自性を追求した立川モデルの検討（中長期活動）や学生などの若者の柔軟な発想に基づき未来志向の提案などをまちの活力に取り入れてゆく省エネ体験プロジェクト事業（短期的活動）を平成28年度から開始しました。この事業は、多摩地域に所在し、地域連携に積極的な活動を行っている中央大学経済学部との連携を通じて、実践的かつ効果的な立川モデルづくりにつながることを期待しています。

29年度では、2つのゼミナールが立川の環境について調査研究をしました。学生の目線からのアイデアを、今後の協議会活動に結びつけられるよう引き続き連携していきます。



これまでの主な活動報告

- 平成21年度 ●環境 ECO 推進協議会設置（H21.9.18） 座長 藤本 淳 ●「環境行動計画」の策定（H22.2）【方針】①中小事業所における取組の促進 ②事業者の連携による取組の推進 ③消費者との協働による新たなビジネスチャンスの誘発 ●第1回 立川の環境を考えるシンポジウム・基調講演「地球気候変動はどこまで来たか?」朝日新聞社 写真センター カメラマン 小林 裕幸 氏・パネルディスカッション「低炭素社会とわたしたちの暮らし」
- 平成22年度 ●環境シンボルマークの作成（公募197点より選出）●省エネウェブサイト開設 ●省エネ診断セミナーの開催 ●第2回 環境シンポジウム～いかに省エネして利益を出すか～・環境問題への取り組みについて 事例紹介／モデル事業紹介・基調講演「セブン-イレブン・ジャパンにおける省エネへの取り組みについて」（株）セブン-イレブン・ジャパン 取締役 常務執行役員 三谷 康 氏
- 平成23年度 ●会員事業所アンケート調査 ●第3回 環境シンポジウム・基調講演「日本「再創造」～プラチナ社会の実現に向けて～」(株)三菱総合研究所 理事長／東京大学総長 顧問 小宮山 宏 氏・パネルディスカッション
- 平成24年度 ●エコカフェの実施 ●自動販売機の省エネ化取り組み ●事例発表会・環境 ECO 推進協議会の取り組みについて／事例紹介・商店街のLED化について
- 平成25年度 ●第4回 環境シンポジウム～立川商工会議所 創立60周年記念 特別講演～・基調講演「会社におけるバカの壁」養老 孟司 氏 ●省エネ効果のヒアリング
- 平成26年度 ●環境行動計画の見直し ●「みんなで作る生き活きとした立川プロジェクト」方針策定 ●第5回 環境シンポジウム～立川発!!みんなで作ろう環境ビジネス～・基調講演「未来から環境ビジネスの今を考える」独立行政法人製品評価技術基盤機構理事長／東京大学名誉教授 安井 至 氏・パネルディスカッション「省エネとビジネスについて」
- 平成27年度 ●ECO イノベーション推進協議会に改名 ●「みんなで作る生き活きとした立川プロジェクト」の具体的な内容策定 ●電力の自由化セミナーの開催 ●第6回 環境シンポジウム～立川発!!みんなで作ろう環境ビジネス2016～・基調講演「異常気象とその影響」気象予報士 村山 貢司 氏・基調講演「エネルギー政策はどう動くか～温暖化問題を踏まえて～」21世紀政策研究所 研究副主幹 竹内 純子 氏・立川市補助金制度及び事例紹介 ●中央大学との連携事業の開始
- 平成28年度 ●第7回 環境シンポジウム～立川発!!みんなで作ろう環境ビジネス2017～・協議会と学生の連携事業 研究発表「環境的持続可能性からみた立川市～未来へ向けて考える～」中央大学経済学部 数田ゼミナール+数田 雅弘 教授・立川市補助金制度及び事例紹介

改修補助金ご案内

1. 無料 省エネルギー診断

効果的な節電対策で光熱費を削減したいと考えている、市内に事業所を持つ中小企業に対し、無料で省エネルギー診断を行いました。この制度は、東京都地球温暖化防止活動推進センター（クール・ネット東京）が行っており、エネルギー管理士等の資格を持った技術専門員が、現地診断等を行って改善提案をするものです。

2. 平成29年度 中小企業二酸化炭素排出量削減事業施設改修費補助金

省エネルギー診断を受診した市内に事業所を持つ中小企業が、改善提案に基づいて行う省エネ改修に対して補助を行っています。省エネ改修を行う場合には、補助金を活用して自己負担を減らしましょう。（※予算が無くなり次第終了します。）

【対象事業者】 市内の事業所（中小企業）

【条件】 ・平成30年2月末までに改修工事が完了する ・エネルギー使用量等を把握している 等

【対象設備】 ・高効率照明器具（LED照明器具等） ・業務用エアコン等の取り替え 等

【補助金額】 補助対象経費の1/3以内（上限50万円）

※これまでの改修補助金利用件数及び補助金利用額

平成22年度／2件 4,000,000円 平成23年度／21件 18,687,000円 平成24年度／8件 12,309,000円 平成25年度／10件 15,674,000円
平成26年度／13件 4,254,000円 平成27年度／14件 12,158,000円 平成28年度／9件 6,589,000円 平成29年度／8件 3,000,000円
(H30.1.10現在)

支援に関する問合せ先

立川市 環境下水道部 環境対策課 温暖化対策係

TEL:042-523-2111(内2243) [直通]042-528-4341 FAX:042-524-2603
メール: kankyoutaisaku@city.tachikawa.lg.jp

※平成30年度の支援内容については、
下記へお問い合わせください。

設備の更新を行った事業主の皆さんに伺ってみました!

事例報告
~2017~

【Q1】店舗・事業所のPRをお願いします。【Q2】どのような設備を更新されましたか？
【Q3】この制度を何で知りましたか？【Q4】エネルギー使用量（電気・ガス等）、CO₂の削減量は？
【Q5】この制度を利用して変わったことは何ですか？

有限会社 五十番

立川市錦町1-4-5
電話 042-522-7472



CO₂削減量
3t

- [A1] 昭和38年創業の中国料理五十番。「美味しいとお客様が喜んでくれるのはもちろん、気軽に集まってくれる場でありたい」と、宴会場を活用し、コンサート・落語会・料理教室・朗読会・映画会などを定期的に開催しています。食だけでなく、地域の文化の発信拠点として、そして自店への集客だけでなく他店への波及効果も考えることで地域に貢献したいと思っております。
- [A2] 2階空調機器の更新と照明をLED化
- [A3] 立川商工会議所ニュースを見て知りました。
- [A4] CO₂ 3t削減
電気料金は約20%の削減につながりました。
- [A5] 毎月の電気料金が20%削減でき、経費面で助かりました。また、照明をLEDに更新したことで、クーラーの効きが良くなり、お客様にも快適な空間を提供できるようになりました。

鈴栄ビル 有限会社

立川市錦町1-12-10
電話 042-525-2128



CO₂削減量
2t

- [A1] 立川駅南口から徒歩6分。ホテル日航東京立川の隣に位置しているオフィステナントビルです。大型駐車場を完備し、多摩地区中心の営業拠点としてご利用いただいております。
- [A2] 1階エントランスと共用部、駐車場、外階段の照明をLED化
- [A3] 同じ商店街のメンバーに聞きました。
- [A4] CO₂ 2t削減
電気料金は約20%の削減につながりました。
- [A5] 改修工事のあとも、引き続き共用部照明器具のLED化を進めています。エントランス部分については、テナントさんからホテルのように明るくきれいになったと好評をいただきました。補助金を活用したことで自己負担が減りましたし、テナントさんにも喜ばれとても良かったと思っております。